

令和5年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習 指導	・自立と社会参加をめざし、小中高一貫した、系統性のある教育課程の編成と、個別教育計画を活用した授業づくりを進める。	①「身につけたい力」を軸に、系統性と教科等横断的な視点で、学習のねらいや内容を見える化する。 ②個別教育計画を活用する仕組みを構築する。 (さらに進める)	①各学部で身につけたい力を系統的に具体化する。授業のねらいや内容と「身につけたい力」のつながりを明らかにする。 ②個別教育計画の中間評価日を設定し、目標の達成度等に応じて手立て（授業内容）等を修正する。引継ぎ方法を再検討する。	①「身につけたい力」を軸に、学習のねらいや内容を見える化し、系統性のある教育課程編成につなげることができたか。 ②活用の仕組みを構築し、個別教育計画を活用した授業づくりができたか。
2	(幼児・ 児童・) 生徒 指導・ 支援	・児童生徒一人ひとりの個性や人権を尊重し、教育的ニーズに応じた的確な支援・指導を全職員で組織的に実践する。	①担任と教育相談チーム等が連携し、多角的な視点で児童生徒の教育的ニーズを整理し、的確な支援・指導の実践につなげる。 ②児童生徒一人ひとりの個性を共有する。	①教育相談票の活用をさらに進める。担任と教育相談チーム等が児童生徒の教育的ニーズを話し合う仕組みをつくる。 ②個別教育計画の「得意・不得意、有効な支援方法・合理的配慮」を活用して、児童生徒の個性をわかりやすく表す。児童生徒の個性に合った支援・指導法を、担任を中心としたチームで考える。	①児童生徒の支援方法について、多角的な視点を持って指導の実践につなげることができたか。 ②児童生徒一人ひとりの個性を共有し、的確な支援・指導の実践ができたか。
3	進路 指導・ 支援	・将来、児童生徒が地域社会で豊かに生きる力を育むために、ライフステージに沿った積極的な進路指導・支援を行う。	①保護者と連携し、児童生徒に合った方法や様式で作成した「キャリア・パスポート」を通して、自己実現する力を育む。 ②進路学習教材の開発や共有をさらに進め、個々のニーズに合った進路指導・支援を実践する。	①児童生徒に応じ、キャリア・パスポートの様式や作成方法（写真の活用等）を調整する。また、本人の願いの言語化や、願い実現の視点による支援計画の作成を保護者と共におこなう。 ②担任と進路チームが連携して開発を進める。教材や実践報告を学校全体で共有・活用できる仕組みをつくる。	①児童生徒に合った「キャリア・パスポート」を作成し、達成感・自己有用感を ②進路学習教材の開発・共有・活用を進め、個々のニーズに合った進路指導・支援が実践できたか。
4	地域等 との協 働	・共生社会の実現に向け、障害のある児童生徒の理解を進めるため、地域と連携した教育活動を推進する。	①教育活動の様子を発信し続けるとともに、地域貢献活動を立ち上げ、地域の理解促進を図る。 ②地域や校内の交流を推進し、相互理解を図る。	①多様な発信ツールを活用し、教育活動の様子を継続的に発信する。また、近隣の店舗等に依頼して、活動の幅を広げる。 ②交流のアイデアを校内で募り、実践をしている。	①地域貢献の活動を広げることができたか。また、地域の中で活動をするにより、児童生徒の理解を進めることができたか。 ②交流の機会を増やし、相互理解を図ることができたか。

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の安全と健康を守り、良好な教育環境の整備と、危機管理体制の確立を図り、地域に信頼される学校づくりに取り組む。 ・教員のワークライフバランスの観点から、教員の働き方改革を推進する。 	<p>①教育環境整備や防災教育に地域と共に取り組む。</p> <p>②小さな削減や効率化をすぐに実行する。(目標50個)</p>	<p>①地域の防災訓練やイベントに参加し、学校からの積極的な発信を行なうと共に地域の方の意見を取り入れていく。</p> <p>②安全・安心など、基本的なことを抑えながら、実行できる仕組みを構築する。</p>	<p>①良好な教育環境の整備と、危機管理体制の確立のために、地域と共に取り組むことができたか。</p> <p>②小さな削減や効率化を50個実行できたか。</p>